

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	地域との繋がりを大切にし、概ね3km以内の方より利用して頂いております。 その方の生活パターンや習慣・家族状況に応じ柔軟なサービス提供を行う事で、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らして頂ける事をお手伝いしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 千手	管理者	廣川 丈人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	重点項目 「日常生活の支援」 暮らしの情報シートの見直しを行う。 「多機能性ある柔軟な支援」 地域資源の情報収集を行う。 「質を向上するための取り組み」 定期ミーティングで研修内容の振り返りを行う。	・ご家族や友人、地域の方との関わりの中から以前の暮らしぶりを少しずつ知ることができた。収集した情報については、ミーティング等で情報共有を行った。 ・地域懇談会への参加、担当民生委員・友人・近所の関係の把握、関わりを深めることができた。 ・定期ミーティングや毎日の申し送りの際にその時の課題に応じた振り返りを行った。	「暮らしの情報シート」をはじめ様々な記録があることが分かった。また、記録を纏めるだけに留まらず、その記録を十分活かせるよう努めて欲しい。 ・事業所内の「報告・連絡・相談」は、良くできている。	「暮らしの情報シート」をご利用者との関わりの一助とし、支援経過記録に特記事項だけでなく、ご利用者の言葉・表情、気づいたこと、良い変化も記録していく。 個人の強みを活かした小規模多機能計画書の作成に繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関に案内板を置き、スムーズに職員を呼び対応できる工夫を行う。	玄関に案内板を置き、インターホンにて職員の呼び出しをして頂くことを明記したことで、対応がスムーズになった。	・玄関のしつらえは、良くなっている。 ・サポートセンターの敷地内に入るとまず、地域交流スペースの入口があり、どこから入って良いか迷う。地域交流スペースの入口に案内の工夫が必要。	行事開催時をはじめ地域の方が戸惑わずに気軽に出入りできるように玄関と地域交流スペースの入り口を明確に案内できるように対応する。
C. 事業所と地域のかかわり	千手カフェ等の内容の検討を重ね、取組みを継続していく中で、多くの方に事業所の存在を知って頂くと共に地域との関わりを深める。	千手カフェ・行事等は、ご利用者を初め地域の方に喜んで頂いているものかどうか検討を行なっている。また、地域参加型を基本とし地域への回覧も行っている。	特になし。	千手カフェをはじめ行事の内容の検討のため、地域の参加者の方から意見を聞く機会をつくる。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>民生員の方の集会等に参加し、地域の心配事の実情の把握を行うことで、支援の連携、地域のニーズの把握にも繋げて行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事（お祭り・運動会・文化祭）にサポートセンター全体で参加した。 ・コミセンと連携し地域の高齢者の集まりに出向き、介護について講和を行った。 <p>近隣小学校との交換学習を継続できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方に運営推進会議メンバーに加わって頂き、連携が行えるよう図った。 	<p>小学校との交換学習会において高学年を対象に認知症サポーター養成講座を行っているところもある。今後の取り組みの参考にして欲しい。</p>	<p>「地域に根ざした事業所」を目指し、ご利用者と地域の行事に参加することや地域に散歩に出掛けることを継続する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>ご利用者、地域の方のニーズ把握、柔軟な支援体制の広がりを目指し、民生委員の方との繋がりを持つ。また、全ての職員が運営推進会議に参加できる機会を設け地域との繋がりについて考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の一部ではあるが、担当民生委員との適宜の情報交換を行い繋がりを持つことができた。 ・一部の職員において、運営推進会議に参加できた。また、千手カフェでは全職員が地域の方と関わる機会を設けている。 ・運営推進会議での意見は、検討し取り入れ改善に繋げている。 (玄関への案内・ボランティアの受け入れ状況・運営推進会議委員について) 	<p>No.2の項目「事例検討が行われていますか」の問いについて、他事業所でも、「いいえ」の回答が多くある。</p> <p>項目は指標であり必ずしも行わなければならないというものではない。</p>	<p>運営推進会議・地域懇談会等に参加できていない職員の参加機会を設ける。参加を通して地域との関わり、関係機関との連携について学びを深める。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>定期的な回覧、広報紙等により防災訓練の取り組みや福祉避難所であることの発信を継続していくことで地域の方に広く知って頂く。</p>	<p>運営推進会議メンバーによる避難訓練の見学の実施。また、町内においては、センターの火災発生時の役割も明確になっている。</p>	<p>道路からのセンターの入口が分かりづらい。災害時等に避難所として設備が整っていても場所が分からなければ意味がない。</p>	<p>道路からセンターの入り口が分かりやすい様に工夫、検討を行う。</p>